

益城町

子ども・子育て支援に関するアンケート調査

ご協力をお願い

皆様には、日頃より子育て行政にご理解とご協力をたまわり誠にありがとうございます。

このたび、益城町では、子どもや子育てに関する町民の皆様のお考えなどをお聞きし、その結果を「第2期益城町 子ども・子育て支援事業計画」の策定に反映するために「子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査」を実施することといたしました。

調査を実施するにあたっては、町内にお住まいのお子様をお持ちの方に無記名で回答をお願いすることといたしました。回答結果は、計画策定の基礎資料として大切に活用させていただき、他の目的に使用することは一切ございません。

お忙しいところ、恐縮ではございますが、このアンケートの趣旨・目的をご理解いただき、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

ご記入についてのお願い

- 本調査では、未就学児童の末子のお子様を対象に調査票を送付しています。
- 調査票には、宛名のお子様の保護者の方がお答えください。もし、病氣入院中や長期出張などにより、ご記入いただけないときは、ご家族の方が代わりにお答えいただいても構いません。
- 万一、ご病氣などでお答えいただけない場合は、無理にすべての設問にご回答いただかなくてもかまいません。可能でしたら、ご回答いただける質問のみでもお答えいただければ幸いです。
- 回答は問いにしたがって、鉛筆やボールペンなどで、調査票に直接ご記入ください。
- お答えは、あてはまる番号を○で囲んでください。なお、「その他」を選択された場合は、()内にその内容を具体的にご記入ください。
- ご回答後は、回答期限までに同封の封筒に入れて郵便ポストに投函してください。(切手を貼ったり、差出人の名前を書く必要はありません)

回答期限：平成31年〇月〇〇日(〇)

- この調査についてのお問い合わせは、下記をお願いいたします。

益城町役場 こども未来課

Tel：096-286-3117(直通) Fax：096-286-4523

■子ども・子育て支援事業計画とは

※お時間があれば、回答するに当たってお読みください。

平成27年3月に「子ども・子育て支援法」をはじめとする「子ども・子育て関連3法」に基づく子ども・子育て支援新制度がスタートしました。

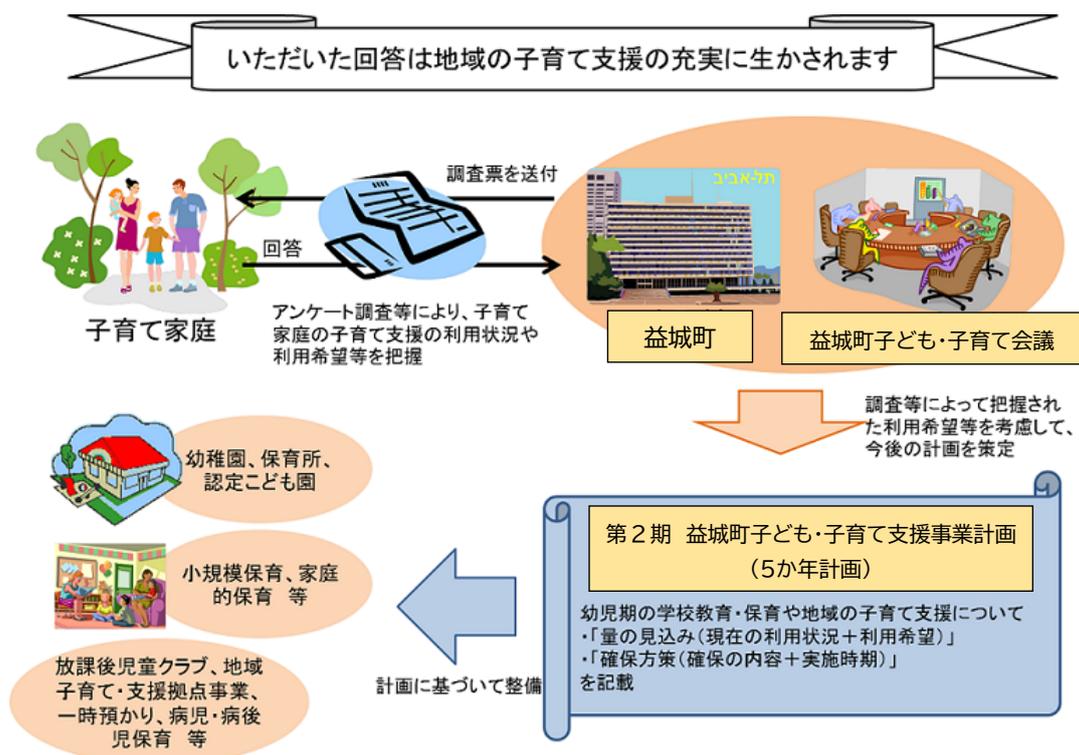
新しい子ども・子育て支援制度の考え方（平成27年度施行）

- 少子化の進行や家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会の実現をめざします。
- 子どもの成長においては、乳児期、幼児期、学童期における子育て環境を整備することをめざしています。
- 子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援をめざしています。

（用語の定義）

この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

- ・幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- ・認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる子育て支援
- ・教育：問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問14以降においては幼児期の幼稚園や認定こども園における教育の意味で用いています



子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境はどこですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | | |
|----------|--------|-----------|--------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 |
| 5. 幼稚園 | 6. 保育所 | 7. 認定こども園 | |
| 8. その他（ | | | ） |

問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------------------------|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } ⇒ 問8-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } ⇒ 問8-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない ⇒ 問9へ | |

問8-1 問8で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる | |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である | |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい | |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | |
| 6. その他（ | ） |

問8-2 問8で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---|---|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる | |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である | |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい | |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | |
| 6. その他（ | ） |

問 9 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. ある ⇒ 問 9-1 へ

2. ない ⇒ 問 10 へ

問 9-1 問 9 で「1. ある」と回答した方にうかがいます。

相談できる先は誰(どこ)ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援施設(つどいの広場・児童館等) |
| 5. 保健所 | 6. 保育所・幼稚園・認定こども園 |
| 7. 保健師 | 8. 民生委員・児童委員 |
| 9. かかりつけの医療機関 | 10. 益城町の子育て関連担当窓口 |
| 11. その他(【例】ベビーシッター) | |



宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問10 必須 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

【問11～問13については、ひとり親の方の場合、ご自身の設問のみご回答ください】

母親	父親
1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労している ⇒(1)-1、(1)-2へ	1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労している ⇒(1)-1、(1)-2へ
2. フルタイム（同上）で就労しているが、病休・産休・育休・介護休業中である ⇒(1)-1、(1)-2へ	2. フルタイム（同上）で就労しているが、病休・産休・育休・介護休業中である ⇒(1)-1、(1)-2へ
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労している ⇒(1)-1、(1)-2、問11(1)へ	3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労している ⇒(1)-1、(1)-2、問11(1)へ
4. パート・アルバイト等（同上）で就労しているが、病休・産休・育休・介護休業中である ⇒(1)-1、(1)-2、問11(1)へ	4. パート・アルバイト等（同上）で就労しているが、病休・産休・育休・介護休業中である ⇒(1)-1、(1)-2、問11(1)へ
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない ⇒問12(1)問13(1)へ	5. 以前は就労していたが、現在は就労していない ⇒問12(1)問13(1)へ
6. これまで就労したことがない ⇒問12(1)問13(1)へ	6. これまで就労したことがない ⇒問12(1)問13(1)へ

(1)-1 (1) で「1」～「4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、おおよその家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。（□内に数字をご記入ください。数字は一桁に一字。）

- ※ 就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
- ※ 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
- ※ 時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。（□内に数字をご記入ください。）

母親	父親
1週当たり □ 日	1週当たり □ 日
1日当たり □ □ 時間	1日当たり □ □ 時間
家を出る時刻 □ □ 時 ～ 帰宅時刻 □ □ 時	家を出る時刻 □ □ 時 ～ 帰宅時刻 □ □ 時

問 1 1 問 1 0 の (1) または (2) で「 3 」または「 4 」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 1 4 へお進みください。

必須フルタイムへの転換希望はありますか。(あてはまるもの1つに○)

母親	父親
1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい	4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問 1 2 問 1 0 の (1) または (2) で「 5 . 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「 6 . これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 1 4 へお進みください。

必須就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。(数字は一枠に一字。)

母親	父親
1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)	1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
2. 一番下の子どもが □□歳になったところに就労したい※1	2. 一番下の子どもが □□歳になったところに就労したい※1
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい ⇒希望する就労形態 ア. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パートタイム・アルバイト等(「ア」以外) ⇒1週当たり □□日 1日当たり □□時間	3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい ⇒希望する就労形態 ア. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パートタイム・アルバイト等(「ア」以外) ⇒1週当たり □□日 1日当たり □□時間

※1 お子さんが1人の場合は、そのお子さんについて記入してください

問13 問10の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。

幼児教育が無償化された場合、就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

母親	父親
1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)	1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
2. 一番下の子どもが □□歳になったところに就労したい※1	2. 一番下の子どもが □□歳になったところに就労したい※1
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい ⇒希望する就労形態 ア. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パートタイム・アルバイト等(「ア」以外) ⇒1週当たり □□日 1日当たり □□時間	3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい ⇒希望する就労形態 ア. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パートタイム・アルバイト等(「ア」以外) ⇒1週当たり □□日 1日当たり □□時間

※1 お子さんが1人の場合は、そのお子さんについて記入してください

**宛名のお子さんの平日の幼稚園・保育所・認定こども園等の
利用状況についてうかがいます。**

問14 全ての方にうかがいます。

必須 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などを利用されていますか。(当てはまるもの1つに○)

1. 利用している ⇒ 問14-1、2、3、4へ 2. 利用していない ⇒ 問14-5へ

問 14-1 問 14 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

必須宛名のお子さんが利用している事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

また、「1.」～「11.」については、その事業をご存知かどうかお答えください。

事業名 (利用している事業の番号に○)	事業の認知 (いずれかに○)	事業の内容
1. 幼稚園	知っている / 知らない	通常の就園時間の利用
2. 幼稚園の預かり保育	知っている / 知らない	通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ
3. 認可保育所	知っている / 知らない	国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの
4. 認定こども園	知っている / 知らない	幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設
5. 小規模な保育施設	知っている / 知らない	国が定める最低基準に適合した施設で、市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの
6. 家庭的保育	知っている / 知らない	保育者の家庭等で子どもを保育する事業
7. 事業所内保育施設	知っている / 知らない	企業が主に従業員用に運営する施設
8. 自治体の認証・認定保育施設	知っている / 知らない	認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設
9. その他の認可外の保育施設	知っている / 知らない	
10. 居宅訪問型保育	知っている / 知らない	ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業
11. ファミリー・サポート・センター※1	知っている / 知らない	子育てを援助してほしい人と、子育てを援助したい人が、お互い会員となって子育てを助け合う事業
12. その他 ()		

問 14-2 問 14 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

必須平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、理想としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、□内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず (例) 09時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間 (□ □ 時～ □ □ 時)

(2) 希望

1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間 (□ □ 時～ □ □ 時)

問 14-3 問 14 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している
3. 子育て(教育を含む)をしている方が就労予定がある/求職中である
4. 子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て(教育を含む)をしている方が病気や障がいがある
6. 子育て(教育を含む)をしている方が学生である
7. その他()

問 14-4 問 14 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

現在利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。(あてはまるもの1つに○)

1. 益城町内
2. 他の市町村

問 14-5 問 14 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の方がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の施設に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で施設を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため()歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他()

問 15 全ての方にうかがいます。

必須現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

事業名	事業の内容
1. 幼稚園	通常の就園時間の利用
2. 幼稚園の預かり保育	通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ
3. 認可保育所	国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの
4. 認定こども園	幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設
5. 小規模な保育施設	国が定める最低基準に適合した施設で、市町村の認可を受けた定員が概ね 6～19 人のもの
6. 家庭的保育	保育者の家庭等で子どもを保育する事業
7. 事業所内保育施設	企業が主に従業員用に運営する施設
8. 自治体の認証・認定保育施設	認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設
9. その他の認可外の保育施設	
10. 居宅訪問型保育	ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業
11. ファミリー・サポート・センター※1	子育てを援助してほしい人と、子育てを援助したい人が、お互い会員となって子育てを助け合う事業
12. その他 ()	

問 15-1 全ての方にうかがいます。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、**幼児教育が無償化された場合、「定期的に」**利用したいと考える事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

事業名	事業の内容
1. 幼稚園	通常の就園時間の利用
2. 幼稚園の預かり保育	通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ
3. 認可保育所	国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの
4. 認定こども園	幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設
5. 小規模な保育施設	国が定める最低基準に適合した施設で、市町村の認可を受けた定員が概ね 6～19 人のもの
6. 家庭的保育	保育者の家庭等で子どもを保育する事業
7. 事業所内保育施設	企業が主に従業員用に運営する施設
8. 自治体の認証・認定保育施設	認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設
9. その他の認可外の保育施設	
10. 居宅訪問型保育	ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業
11. ファミリー・サポート・センター※1	子育てを援助してほしい人と、子育てを援助したい人が、お互い会員となって子育てを助け合う事業
12. その他 ()	

問 15-2 全ての方にうかがいます。

教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。(あてはまるもの1つに○)

1. 益城町内	2. 益城町外
---------	---------

問 15-3 問 15 で「1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3.～12.にも○をつけた方にうかがいます。

必須特に幼稚園 (幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む) の利用を強く希望しますか。(あてはまるもの1つに○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 18 全ての方にうかがいます。

下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～③の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A	B	C
	知っている	これまでに利用 したことがある	今後利用したい
①母親（父親）学級、両親学級、育児学級	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②保健センターの情報・相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④教育相談センター、教育相談室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤小学校の校庭等の開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥子育ての相談窓口	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

**宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の
幼稚園・保育所・認定こども園等の利用希望についてうかがいます。**

問 19 全ての方にうかがいます。

必須宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。

※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

※教育・保育事業とは、認定こども園、幼稚園、保育所などで教育や保育を行うことを指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない	→「2,3.」に○をつけた方は、該当する口内に数字をご記入ください 利用したい時間帯 □□時 ~ □□時 ※「3.」を選んだ方は ⇒問 19-1 へ
2. ほぼ毎週利用したい	
3. 月に1～2回は利用したい	

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない	→「2,3.」に○をつけた方は、該当する口内に数字をご記入ください 利用したい時間帯 □□時 ~ □□時 ※「3.」を選んだ方は ⇒問 19-1 へ
2. ほぼ毎週利用したい	
3. 月に1～2回は利用したい	

問20 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

必須 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。

※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用する必要はない

→「2.3.」に○をつけた方は、該当する□内に数字をご記入ください

2. ほぼ毎日利用したい

利用したい時間帯

□□時～□□時

3. 週に数日利用したい ⇒問20-1へ

**宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の幼稚園・保育所・認定こども園等を利用する方のみ)**

問 2 1 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 14 で 1 に○をつけた方）にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問 2 2 にお進みください。

必須 この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の施設が利用できなかったことはありますか。(あてはまるもの 1 つに○)

1. あった ⇒ 問 21-1 へ 2. なかった ⇒ 問 22 へ

問 21-1 問 21 で「1. あった」と回答した方にうかがいます。

必須 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の施設が利用できなかった場合に、この 1 年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。

※(半日程度の対応の場合も 1 日とカウントしてください)

1 年間の対処方法	日数	
1. 父親が休んだ	□ □ 日	⇒ 問 21-2 へ
2. 母親が休んだ	□ □ 日	
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	□ □ 日	⇒ 問 21-5 へ
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□ □ 日	
5. 病児・病後児の保育を利用した	□ □ 日	
6. ベビーシッターを利用した	□ □ 日	
7. 子どもだけで留守番をさせた	□ □ 日	
8. ファミリー・サポート・センターを利用した	□ □ 日	
9. その他 ()	□ □ 日	

問 21-2 問 21-1 で「1.」または「2.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

必須 その際、「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください。

※病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. 病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ 年間 □ □ 日 ⇒ 問 21-3 へ
2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 21-4 へ

問 21-3 問 21-2 で「1. 病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの形態が望ましいと思われますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設
2. 小児科に併設した施設
3. 地域住民等が自宅などの身近な場所で預かる
4. その他()

問 21-4 問 21-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。

その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 親が仕事を休んで対応する
2. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安
3. 事業の質に不安がある
4. 利便性(立地や利用可能時間、日数など)がよくない
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. その他()

問 21-5 問 21-1 で「2」～「7」に○をつけた方にうかがいます。

その際、「父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、「3」～「9」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても□内に数字をご記入ください。

1. できれば仕事を休んで看たい⇒ 年間 □□ 日 ⇒ 問 22 へ
2. 休んで看ることは難しい ⇒ 問 21-6 へ

問 21-6 問 21-5 で「2. 休んで看ることは難しい」に○をつけた方にうかがいます。

その理由は何ですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 子どもの看護を理由に休みが取れない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. 仕事が忙しくて休めない
5. その他()

**宛名のお子さんの保育所などの一時的な利用や、
宿泊を伴う一時預かりなどの利用についてうかがいます。**

問 2 2 全ての方にうかがいます。

必須宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください。
また、「1.」～「5.」については、その事業をご存知かどうかお答えください。

1年間の対処方法	事業の認知	日数
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	知っている / 知らない	□ □ 日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期に利用する場合のみ)	知っている / 知らない	□ □ 日
3. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	知っている / 知らない	□ □ 日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間等に、子どもを保護する事業)	知っている / 知らない	□ □ 日
5. ベビーシッター	知っている / 知らない	□ □ 日
6. その他 ()	—	□ □ 日
7. 利用していない ⇒ 問 22-1 へ	—	

問 2 3 全ての方にうかがいます。

必須宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、問 2 2 の事業を年間何日くらい利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。)

※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計 □ □ 日
① 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	□ □ 日
② 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	□ □ 日
③ 不定期の就労	□ □ 日
④ その他 ()	□ □ 日
2. 利用する必要はない	

**宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の
放課後の過ごし方についてうかがいます。**

⇒ 宛名のお子さんが5歳未満の方は、問29以降をご回答ください

- 問25** **必須**宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。
- また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください。
- また、「4.」～「7.」については、その事業をご存知かどうかお答えください。

放課後に過ごさせたい場所	事業の認知	希望する日数
1. 自宅	—	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	—	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	—	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. 児童館	知っている / 知らない	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. 放課後児童クラブ〔学童保育〕 ※1	知っている / 知らない	週 <input type="checkbox"/> 日くらい →下校時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
6. 放課後子ども教室 ※2	知っている / 知らない	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
7. ファミリー・サポート・センター	知っている / 知らない	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	—	週 <input type="checkbox"/> 日くらい

※1 放課後児童クラブ（学童保育）…保護者が就労などにより昼間家庭にいない場合などに、安全な場所で子どもを預かる事業です。事業の利用には利用料がかかります。

※2 放課後子ども教室…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取り組みです。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問26 **必須**宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。
 また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

放課後に過ごさせたい場所		希望する日数
1. 自宅	週	<input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/> 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	<input type="text"/> 日くらい
4. 児童館	週	<input type="text"/> 日くらい
5. 放課後児童クラブ〔学童保育〕 ※1	週	<input type="text"/> 日くらい → 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
6. 放課後子ども教室 ※2	週	<input type="text"/> 日くらい
7. ファミリー・サポート・センター	週	<input type="text"/> 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週	<input type="text"/> 日くらい

問27 問25 または問26 で「5. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。

※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

(1) 土曜日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい 2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
--	---	-------------------------

(2) 日曜・祝日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい 2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
--	---	-------------------------

問28 問25 または問26 で「5. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。

※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい 2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
--	---	-------------------------



**すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など
職場の両立支援制度についてうかがいます。**

問29 全ての方にうかがいます。

宛名のお子さんが出産した時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○) また、「3. 取得していない」方はその理由の番号をご記入ください。(当てはまる番号すべてを枠内に記入)

母親 (いずれかに○)	父親 (いずれかに○)
1. 働いていなかった 2. 取得した (取得中である) 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 (下から番号を選んで記入ください) (いくつでも)	1. 働いていなかった 2. 取得した (取得中である) 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 (下から番号を選んで記入ください) (いくつでも)

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
 2. 仕事が忙しかった
 3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
 4. 仕事に戻るのが難しそうだった
 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
 7. 保育所 (園) などに預けることができた
 8. 配偶者が育児休業制度を利用した
 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
 10. 子育てや家事に専念するため退職した
 11. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)
 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
 13. 育児休業を取得できることを知らなかった
 14. 産前産後の休暇 (産前6週間、産後8週間) を取得できることを知らず、退職した
 15. その他 ()

問30 全ての方にうかがいます。

子育てと仕事の両立支援として、企業にどのようなことを期待しますか。(○は3つまで)

1. 妊娠中や育児期間中の勤務を軽減する
2. 育児休業制度・再雇用制度などを整備するとともに、制度を利用しやすい環境をつくる
3. 子どもが病気やけがをしたときに休暇を取りやすい環境をつくる
4. 事業所内に保育施設を設置する
5. 男性が育児休業制度を利用しやすくするなど、子育てに男性が参加できる環境をつくる
6. 子育てと仕事の両立に向け、職場内の理解を深めるための啓発を行う
7. その他 ()
8. 特にない

すべての方に、益城町の子育て環境についてうかがいます。

※ここから先の問いは、全ての方にうかがいます。

問3 1 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 非常に満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば満足していない |
| 5. 満足していない | |

問3 2 あなたは、益城町は子育てがしやすいまちだと感じますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 子育てしやすいと感じる | 2. どちらかといえば子育てしやすいと感じる |
| 3. どちらかといえば子育てしやすいと感じない | 4. 子育てしやすいと感じない |
| 5. わからない | |

問3 3 子育てについて、どのように感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| 1. 楽しいと感じることが多い | 2. 楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい |
| 3. 辛いと感じることが多い | 4. その他 () |
| 5. わからない | |

問3 4 子育てに不安や負担を感じるがありますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|----------|-------------|----------|
| 1. 感じない | 2. あまり感じない | 3. 多少感じる |
| 4. 常に感じる | 5. なんともいえない | |

問3 5 あなたは子育てが地域の人や友人・知人、もしくは社会で支えられていると感じますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 十分に感じる | 2. まあまあ感じる |
| 3. あまり感じない | 4. まったく感じない |

問3 6 子育て支援サービスの情報はどこから入手しますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. 親族(親、兄弟姉妹など) | 2. 友人、知人、隣近所 |
| 3. つどいの広場・児童館等 | 4. 町のホームページや広報紙等 |
| 5. インターネット(ウェブサイトやSNSなど) | 6. テレビ、ラジオ、新聞 |
| 7. 市販の子育て雑誌、育児書 | 8. 自分が欲しい情報の入手方法がわからない |
| 9. 幼稚園・保育所・認定こども園 | 10. 保健師 |
| 11. その他 () | |

問37 あなたは、仕事と子育てを両立させるためには何が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者の協力
2. 配偶者以外の家族の協力
3. 子育て後に再就職できる制度の充実
4. 労働時間の短縮制度の充実
5. 事業所内保育施設や企業主導型保育所の整備・充実
6. 職場内での子育てに関する制度や環境の充実（育児休業制度や育児時間が取れる職場環境など）
7. 職場の同僚や上司の理解、協力体制
8. 親の仕事の形態にあわせた保育施設やサービスの充実
9. その他（具体的に： _____）
10. 特に必要なものはない

問38 子育てをする上で、どのような悩みや不安がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの健康・発達に関すること
2. 子どもの教育に関すること
3. 子育てに関する経済的負担が大きいこと
4. 自分の自由な時間が持てないこと
5. 夫婦関係に関すること
6. 親族関係に関すること
7. 子育てによる心身の疲れが大きいこと
8. 仕事が十分にできないこと
9. 子育てのための住居条件が悪いこと
10. その他（ _____）
11. 悩みや不安は特にない

問39 安心して子育てができ、子どもがのびのびと育つために、町に充実してほしいと思うことは何ですか。(あてはまるもの5つまでに○)

1. 子育てに関する相談や保護者同士が交流できる場を増やすこと
2. 子育ての意義・大切さなどを啓発すること
3. 保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、子育てのための経済的支援をさらに充実すること
4. 母子保健サービスや子どもの救急医療の体制を整備すること
5. 虐待防止など、子どもの人権を守る取り組みを進めること
6. 延長保育など、いろいろなニーズに合った保育サービスを充実すること
7. ひとり親家庭などそれぞれの家庭のあり方に応じた子育て支援を充実すること
8. 子育てボランティアなど地域で子育てを支える活動を活発にすること
9. 放課後児童クラブ(学童保育)のほかにも、子どもの放課後の居場所を増やすこと
10. 地域で子どもたちが遊んだり、スポーツしたりする場や機会を増やすこと
11. 子どもの「生きる力」を育むための教育を充実すること
12. 非行防止などの青少年健全育成対策を充実すること
13. 仕事と子育ての両立しやすい環境づくりについて、企業へ啓発すること
14. 道路や施設などのバリアフリー化を進めること
15. 子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策を進めること
16. その他 ()
17. 特にない

問40 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関して意見がございましたら、自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
同封の封筒に入れ、切手を貼らずにポストへご投函ください。